

## 「薬の防災対策」

皆さんは災害に対してどの様な準備をしていますか？避難袋に保存食や懐中電灯などを入れている方は多いでしょう。では、お薬はどうでしょうか？災害が起きた時、すぐにお薬を持ち出せるでしょうか？備えあれば患なしと言いますが、避難用に薬は何日分必要なのでしょう？しかも薬には有効期限があり、避難袋に入れっぱなしでは使えなくなってしまう。そ

こで皆さんにお勧めするのがお薬手帳です。東日本大震災の時、浸水した自宅から水でふやけたお薬手帳を持ってきた方がいたそうです。しかし、乾かすと少々文字がにじんでいても読めたそうです。最近は何でもパソコン、スマートフォンや携帯電話に記録しがちですが、水に浸かると壊れてしまい、中のデータは見る事ができません。お薬手帳に普段から記録を続けて

いると、避難先の医師に処方してもらえるので、慌てる事はないでしょう。お薬手帳をぜひ診察券や保険証と一緒に保管していただきたいと思います。

東日本大震災の報道で、約3日で物流はほぼ再開したと聞きました。しかし、直接被害を受けていないのに、医薬品の物流が2週間程不安定な状態が続いた地域もあったそうです。その間は3日分ずつ薬を渡して凌いだそうです。道南は、函館市に医薬品卸業者が集中しています。函館が被災した時は渡島半島全てに影響があると考えて良いでしょう。だからと言って処方薬の過剰な確保は無駄が多く、しかも医療費高騰に繋がるので避けて下さい。

万が一の時の為に、我々函館薬剤師会も災害対策を進めています。あって欲しくない大規模災害ですが、皆様にはご自身でできる対策を進めて頂ければと思います。薬局はそんな相談も気軽にできる場所です。お困りの際は、かかりつけの薬局で相談してみたいかがでしょうか。



函館薬剤師会  
防災委員委員長  
白ゆり薬局乙部店勤務

高島 一哉 さん